

稲作だより

～第11号 出穂期管理編～

間断灌水で根の活力を維持しよう！ いもち病とカメムシの多発に注意！！

地域 品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
尾花沢市 尾花沢 はえぬき	本年	64.0	483	11.3	39.1
	前年	69.4	467	11.6	37.5
	平年	68.6	583	11.2	39.0
	平年比	93	83	0.1	0.1
村山市 河島 つや姫	本年	66.7	455	11.1	37.1
	前年	64.1	538	10.9	37.9
	平年	62.5	542	11.0	37.9
	平年比	107	84	0.1	-0.8
東根市 蟹沢 雪若丸	本年	65.6	592	11.9	40.2
	前年	64.7	653	12.3	37.5
	平年	63.2	661	11.7	38.7
	平年比	104	90	0.2	1.5

今年の出穂期は、平年並みの見込みです。

「はえぬき」8月5～7日頃

「雪若丸」8月5～7日頃

「つや姫」8月12～14日頃

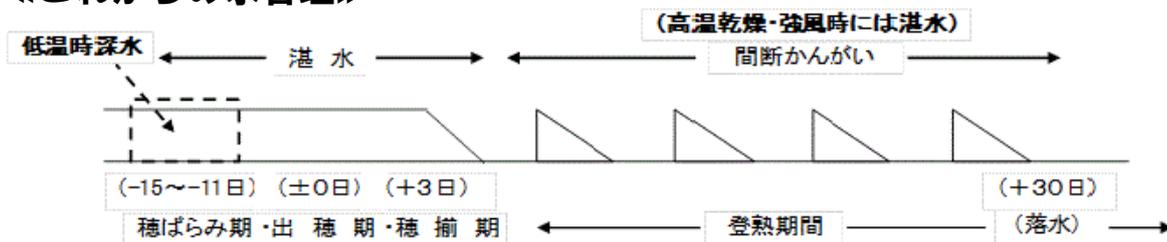
中山間・山間部は、上記より
2～3日程度遅い予想です。

※ 7月20日の作柄診断圃の生育状況（普及課調べ）

1. 水管理が良食味・高品質米生産のカギ！！

- 出穂期までは、2日湛水+2日落水の間断かん水を行い、根の活力を維持します。
- “水稻”の名の通り、稲は出穂・開花期に最も水を必要とし、最も乾燥に弱い時期です。
- 出穂期前後のおおよそ7日間は2～5cmの湛水管理とします。
- 大切な用水ですので土地改良区等の情報を基に適期・適正に灌水し、かけ流しはしません。

《これからの水管理》



2. 斑点米カメムシ類の急増に注意！！

- 病害虫防除所の7月上旬の調査ではカメムシ類が農道・畦畔の確認地点率で平年に比べ多くなっています。
- 草刈りは、出穂2週間前までに終了しましょう。これ以降の草刈りは、カメムシ類の水田への侵入を促すので、出穂2週間前から8月末までは畦畔の草刈りは控えましょう。やむを得ず草刈りをする場合は、薬剤防除の直前に実施してください。
- 基本防除時期は、穂揃期+穂揃期7～10日後の2回です。例年、被害がみられるところでは、追加防除を行いましょう。

3. 穂いもち注意報が発表！！ 早急に見回りを！！

- 7月中旬は曇天や降雨の日が多かったため、管内でも葉いもちの発生が確認されています。穂肥施用後はイネの窒素濃度が高まっています。水田を見回り早期発見・早期防除に努めましょう。常発地や葉色の濃い圃場では、特に注意してください。

熱中症に注意！！「もう少し」と思う時に休憩し、水分を補給しましょう。